令和７年度　　研究の概要

Ａ４グループ

㊫豊田小　飯田　悠太　　㊬神の倉小　廣瀬　歩実

柴田小　松浦　友助　　桃山小　蛭川　孝信

数学的に考える力の育成
―４年「面積」の指導を通して―

１　単元の目標

長方形や正方形の面積について、その比べ方や表し方を理解し、求め方や公式を考えたり、単位を適切に用いて表現したりすることを通して、面積（広さ）の理解を深めることができるようにする。

２　単元を通して目指す児童像

数学的な見方・考え方を働かせて、単元の第１時に、先生の友達が住む新居の様々な間取り図から、広い家を考える場面から、「長さや重さのように単位があるのではないか」という解決したいことを見付け、第２時以降、具体物の操作活動を通して量感を鍛えることで日常生活や学習に活用しようとすることができる児童

３　手だて

手立て①（第１時）　　日常の場面の提示

児童に、日常の場面（先生の友達が住む新居の様々な間取り図から、広い家を考えさせる）を提示し、算数を使わずに解決する（横長がなんとなく広いなど）と不都合が生じる経験をさせる。そこで児童が数学的な見方・考え方を働かせる（タイルが何枚分かで比べる、重ねてみる）ことで、「１枚分で考えられなかったり重ねたりできない場合があるから、長さや重さのように単位があるのではないか」など、その単元で解決したいことを見付けることができるようにする。

手立て②（第２時から最終時手前まで）　　具体物の操作活動

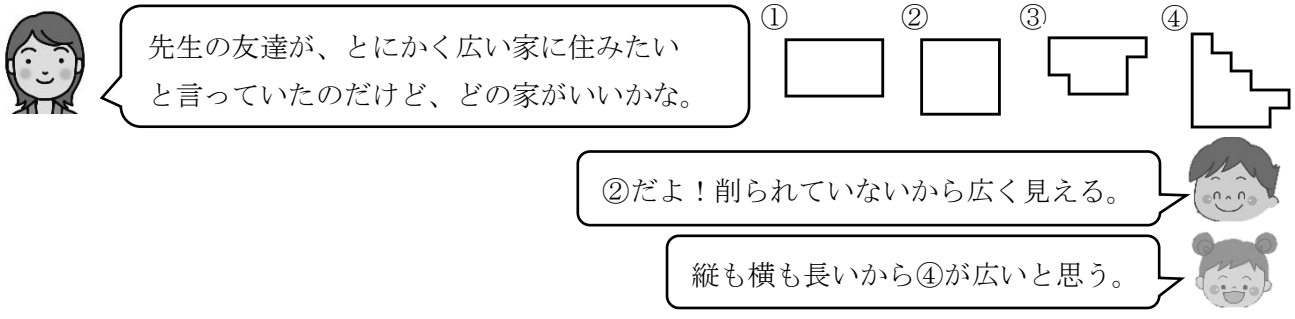
具体物を用意し、操作活動を行いながら学習を進めていくことで、児童が「面積」（広さ）に関する問題について正しい量感で考えることができるようにする。

４　検証方法

単元を通して具体物を用いた操作活動を行い、児童の量感を鍛える学習を繰り返し行うことにより、単元の最終時に、日常や社会の事象に活用することができたかを検証する。

５　単元計画

【１時間目】



【７時間目】

新聞紙で作った１㎡に乗ってみよう！

見て！５人も乗れたよ。

僕たちは座って乗ったから３人だった。

だったら、私は寝転んでみようかな。

【10 時間目】

今度家族でピクニックに行くことになったのだけど、どのレジャーシートを買うか悩んでいるの。みんなが家族で行くならどのレジャーシートにするかな。

一番大きいのがいいと思う。

私の家族は３人だから、そんなに大きいものはいらないよ。

大きいのがいいけど高そうだなあ。